



目に見えない力

校長 齊藤 浩雄

先日の運動会では多くのご来賓の皆様、保護者、地域の皆様にご来場いただき、ありがとうございました。たくさんのご声援のおかげで子供たちは最後まで一生懸命頑張ることができました。運動会を終えた子供たちの表情からも、達成感や満足感が伝わってきました。それぞれの学年の子供たちの大きな成長を感じる運動会になりました。

さて、今年の10月、ノーベル賞受賞の報道が相次ぎました。ノーベル生理学・医学賞が坂口志文・大阪大学特任教授に、ノーベル化学賞が北川進・京大特別教授に授与されます。受賞に関する記事によると、お二人の専門分野は違うものの、共通した点も多くありました。坂口さんは、過剰な免疫反応を抑える「制御性T細胞」を40年ほど前に発見しましたが、当時は免疫を抑える細胞は存在しないと世界からは注目もされず、まだこんな研究をしている人間がいるのかと異端視されていました。また、北川さんも1990年代にねらった物質を内部に閉じ込められる多孔性金属錯体を開発しましたが、米学会にて、そんなものはほんとうにあるのか、間違っていると厳しい批判をあびました。まわりから受け入れられない中でも、あきらめずに自分を信じて研究を続けてきたことがノーベル賞という快挙につながりました。お二人には研究者としての優れた学術的な知識や物事を深く考える力が備わっていたことは間違いないところですが、それに加えて新しいことにチャレンジする好奇心や粘り強さや諦めない心などが研究の根底を支えていたのだと思います。

ノーベル賞受賞の記事を読みながら子供の学力についても考えてみました。子供の学力は「冰山」に似ているといわれています。(冰山は1/8が海面上に姿を見せている。)テストの点数などで示される成績はいわば見える学力です。その見える学力の土台には、目には見えない学力があります。先述したノーベル賞を受賞したお二人はもちろんですが、様々な分野で活躍されている方々にもしっかりと見えない学力が備わっていることが想像できます。本校でも日々の教育活動の中で、単に知識や技能を身に付けるだけでなく、目には見えない力【①自分を高める力(意欲や向上心) ②他者とつながる力(協調性やコミュニケーション力) ③自分と向き合う力(自制心や忍耐力)】を育てていくことを大事にしています。

今、子供たちは、学芸会に向けて一生懸命に練習に取り組んでいます。一つの劇を作り上げるには教科等で学んだ知識も必要です。それだけでなく自分で考え工夫し表現する力や友達と協力する力、勇気や忍耐力など、まさに目に見えない力が必要です。12月13日の学芸会、そうした様々な力が融合された成果をご覧いただきたく、ご家族、地域の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

12月の予定

1	月	普	全朝	委員会⑧ 星見会予備
2	火	短	無	3-1 社会科見学(印刷局) 短縮時程
3	水	4H	基外	4時間授業 6-2・4-2研究授業(14:40下校)
4	木	普	読外	1~5年 5時間授業 6年 係児童打合せ(6校時) 3-2 社会科見学(印刷局)
5	金	短	無	短縮時程
6	土			
7	日			校庭開放
8	月	普	基外	
9	火	普	基外	
10	水	水曜	基外	
11	木	4H	新聞	リハーサル 1~5年 4時間授業 6年 学芸会前日準備 安全指導
12	金	普	読書	学芸会(児童鑑賞日)
13	土	4H	読書	1~5年4時間授業(給食あり) 学芸会(保護者鑑賞日)
14	日			校庭開放
15	月			振替休業日
16	火	普	読外	
17	水	水曜	基外	書初め練習3・5年 水曜時程
18	木	短	無	避難訓練(煙) 短縮時程
19	金	4H	読外	書初め練習4・6年 4時間授業
20	土			
21	日			校庭開放
22	月	普	基外	委員会⑨
23	火	普	読外	なかよし班活動⑥
24	水	水曜	読書	給食終・水曜時程 1年 生活科見学
25	木	4H	全朝	4時間授業 大掃除(4校時)
26	金			冬季休業日(小中)始
27	土			
28	日			
29	月			
30	火			
31	水			

今月の生活目標

せいりせいとん
「整理整頓をしよう」